



白いこころ

「あなたで良かった」

祖父が急病で入院したのは約10年前
このとき初めて、患者さんの家族“という立場を経験した

容体がいつ、どうなるか分からず不安が募る日々の中
身内として病院のベッドのそばに寄り添いながら考えていた

「もし自分が看護師として祖父を担当するとしたら、
いったい何をすべきだろうか」

看護師の仕事を初めて18年

「苦痛なく過ごせているか」

「必要な治療はないか」

患者さんと日々向き合う

しかしこれは当たり前のこと

「ご家族は何を望んでいるのか」

「患者さんとの面会時間をどのように過ごされたいのか」

今はご家族の希望も考え、看護師としてできる限りのことをする

「あなたに担当してもらえて良かった」

息を引き取られた患者さんの

ご家族にそう言ってもらえたとき、

看護師としての成長を感じたような気がした

看護師（ICU勤務）足立拓也